

令和6年8月21日

令和6年度「まちのデータ研究室」における成果発表会を開催

香川大学は、情報通信交流館（e-とぴあ・かがわ）、日本電気株式会社、高松市、スマートシティたかまつ推進協議会などと連携し、行政、企業、NPO法人、大学生、高校生など地域住民が、まちのデータを用いて地域の課題を解決するシステムを開発する「まちのデータ研究室」を運営しています。

今年度は、準公共分野と言われる教育、食関連産業、農業分野を対象としたシステムの開発に5つのチームが取り組み、この度、今年度の成果発表会を開催いたします。報道機関におかれましては成果発表会にお越しいただき、開発したシステムを取材いただきたく、お願い申し上げます。

※ 取材をご希望される場合は、以下のお問い合わせ先にご連絡ください。

■ 令和6年度まちのデータ研究室について

全4回開催（別添資料1参照）

■ 第4回：成果発表会

行政、企業、NPO法人、大学生、高校生など地域住民が混成チームを形成し、準公共分野を対象にシステム開発に取り組みました。成果発表会では、デモセッションにおいて実際に動作するシステムを体験していただけます。

○チーム&システム名：

- ・BEREAL：高商祭リアルタイム情報共有システム
- ・チーム鳥獣害撲滅：有害鳥獣情報共有システム
- ・キッチンカー万歳：キッチンカー情報共有システム
- ・Dの一族：学校交通事故状況共有システム「ポケステ学園」
- ・チーム高商：授業課題提出管理システム（授業課題提出先連絡機能、授業課題提出チェック機能）

○審査員：中田 寿穂 氏（日本マイクロソフト株式会社 クラウドアーキテクト／香川大学 客員教授）

田中 照敏 氏（高松市総務局デジタル推進部デジタル戦略課／

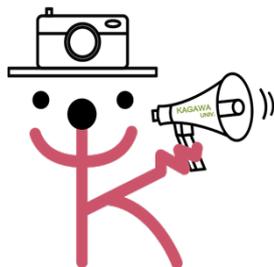
政策局広聴広報・シティプロモーション推進課 調整官）

樋川 直人 氏（情報通信交流館 館長）

○日時：2024年8月31日（土）13:00～16:30（13:00～14:30 発表準備、14:40～16:30 発表会）

○場所：情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ BB スクエア

（香川県高松市サンポート2番1号 高松シンボルタワー タワー棟5階）



お問い合わせ先

香川大学情報化推進統合拠点 准教授 米谷雄介

TEL：080-3438-5749

E-mail：kometani.yusuke@kagawa-u.ac.jp

※上記不在の場合

情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ 山川

TEL：087-822-0111（代表電話）

E-mail：m-yamakawa@kkjs.e-topia-kagawa.jp



準公共分野のデジタル化を進め、地域の魅力を向上させよう

健康・医療・介護、教育、子ども、防災、モビリティ、農業・水産業・食関連産業、港湾、インフラなどの準公共分野における業務をデジタル化することによって、国、独立行政法人、地方公共団体、民間事業者、各種団体・法人・協会等の様々な主体によって提供される準公共サービスの顧客体験を改善し、地域の魅力を向上させる手法を学びます。アプリ・ソフトウェア開発プロセスを体験してもらうだけでなく、「デジタル技術を用いた準公共サービスの効率化と質の向上」というテーマに沿って設定した独自の課題に対して課題解決を実践してもらいます。

01/ ローコード・ノーコードツールを用いた「システム開発/データ分析ハンズオン」

02/ デザイン思考に基づいて課題を発見し、アイデアを創出する「業務改善アイデアソン」

03/ 「業務 UX 調査」に基づく「業務システム内製開発」「業務データ分析」による課題解決の実践

体験

実践・効果検証

(1)(2) を通じてデザイン思考によるアプリ・ソフトウェア開発プロセスを体験していただき、(3) を通じて、実在する準公共サービスの業務課題の解決に向けたシステム開発/データ分析の実践と、準公共サービスの効率化や質の向上に対する効果の検証をおこなってもらいます。

あなたのアイデアをアプリ・ソフトウェアとして具現化し、地域の魅力向上に貢献してみませんか？

講師/アシスタント

【講師】香川大学DX推進研究センター DXラボ 教職員・学生



准教授 米谷雄介
専門：
ナレッジ
マネジメント
システム開発



DXラボスタッフ
六車俊紀
(大学院
創発科学研究科)



DXラボスタッフ
榊原海斗
(大学院
創発科学研究科)

【リサーチ・アシスタント】創造工学部 情報システム・セキュリティコース 学部生

スケジュール

※詳細スケジュールおよびカリキュラムは裏面をご覧ください。

- 6月8日(土) **第1回 システム開発ハンズオン**
IT(情報技術)スキルを有しない業務関係者でもシステム開発/データ分析を実践できるローコード・ノーコードツールによる業務システム内製開発を体験してもらいます。
- 6月22日(土) **第2回 業務改善アイデアソン・チームビルディング**
デザイン思考に基づくアイデア創出手法「業務改善アイデアソン」を通じて、準公共サービスの課題やアイデアを考えます。さらに業務関係者・IT関係者、大学生、高校生など多様な参加者でチームを形成し、対象業務や課題を設定します。業務の観察を通じて業務の抱える問題を分析する業務UX調査をおこない、課題解決に向けたプロトタイプ制作に取り組みます。
- 7月6日(土) **第3回 中間報告会・データ分析ハンズオン**
報告フォーマットにしたがって業務UX調査・プロトタイプ制作の進捗状況を共有します。続いて、できることをさらに広げるため、調査データ・業務データの収集・加工・蓄積の自動化や、データを統合・可視化することでビジネスにデータを活かすダッシュボードの開発を体験してもらいます。
- 8月31日(土) **第4回 成果発表会**
それぞれの研究成果を研究室全体で共有していただきます。チームによるプレゼンテーションとブース展示を予定しています。

時間

①10:30~12:00 ②13:00~14:30 ③14:40~16:10
(90分×3コマ) ※第4回は②、③のみ ※途中休憩あり

Q ローコード・ノーコードツールとは?

コンピュータ・プログラミングの代わりに、グラフィカル・ユーザー・インターフェースと設定を通じてアプリケーション・ソフトウェアを作成できる技術のこと。

申込方法や詳細は裏面へ

対象ユーザー



デジタル人材

技術を持っているが適用可能な課題がわからなかったり、データに困っている方

地域のステークホルダーや自治体職員と関係性を構築しながら、貢献できる課題やデータ活用を学べます。

デジタル技術を用いた準公共サービスの効率化と質の向上

地域づくり、まちづくりに役立つデジタル活用手法を学ぶことができます。

一般市民

課題を持っているがデジタル活用手法がわからない地域コミュニティの運営者など

行政職員

データ管理が得意だがそれをアプリ化する技術や適用可能な現場の課題がわからない方

市民やデジタル人材と協力して地域課題解決のニーズや必要なオープンデータを学べます。

受講料

無料

対象・定員

対象 | 高校生以上
※18才以下は保護者の同意が必要です。
定員 | 30名 ※先着順受付

参加条件

- デジタル技術を用いて自身が提供するサービスを効率化したい方、地域住民にとって魅力ある地域を作ることに関心、関心のある方で、全日程参加できる方
- 普段からパソコン、スマートフォンを学習や業務等で利用している方（アプリ開発のスキルは不要です）
- Wi-Fi にてインターネットに接続可能なノート PC を持参できる方（※OS、Version は問いません）
- 必須条件ではありませんが、地域貢献に関心があり、地域での活躍の場を探されている IT に詳しい方のご参加を歓迎
- 成果物の取り扱いについてはオープンソースとし、無償で誰もが自由に改良・再配布をできるようにします

申込方法

情報通信交流館（e-とびあ・かがわ）のホームページよりお申込みください。

HPはコチラ▶



申込締切 **5月31日(金)**

開講スケジュール／カリキュラム

#	開講日	トピック	活動内容
1	6/8 (土)	システム開発 ハンズオン 「物品管理システムを開発してみよう」	「香川大学におけるデザイン思考に基づく DX 推進の取り組み」 香川大学情報化推進統括拠点 准教授 米谷雄介 インブットーク 「香川大学における物品貸出・管理システム開発の取り組み」 香川大学学生生活支援課 藤沢勇汰、成重伸昭 教育、防災、農業などの準公共分野に応用できる物品管理システムを題材に、ローコード・ノーコードツールによる業務システム内製開発を体験します。 (1) 物品管理データベースを開発しよう (2) より使いやすい物品管理インタフェースを開発しよう
2	6/22 (土)	・業務改善アイデアソン ・チームビルディング	「エモグラフィ」「スピードストーミング」「ハイライト」「アイデアスケッチ」「プレスリリース作成」といったアイデアワークを通じて、準公共サービスの業務課題について共感、問題定義、アイデア創出をおこないます。さらに業務関係者・IT関係者、大学生、高校生など多様な参加者でチームを形成し、対象業務や課題を設定します。
3	6/23 (日) ～ 7/5 (金)	・業務 UX 調査 ・プロトタイプ制作 ・報告資料作成	各チームに分かれて実際の業務の観察を通じて業務の抱える問題を分析する業務 UX 調査をおこない、課題解決に向けたプロトタイプ制作に取り組みます。共通の地域課題に関心のある方たちでチームを作ってもらいます。報告フォーマットにしたがって業務 UX 調査・プロトタイプ制作の進捗状況の報告資料を作成してもらいます。
4	7/6 (土)	・中間報告会 ・データ分析ハンズオン 「調査統計・業務統計・加工統計を自動化し、収集データを可視化してみよう」	インブットーク 「香川大学における医療データ分析の取り組み」 香川大学医学部経営企画課 田籠星太、浪越俊介 業務 UX 調査・プロトタイプ制作の進捗状況を共有します。続いて、健康・医療・介護、教育、子ども、防災、モビリティ、農業・水産業・食関連産業など幅広い準公共分野に適用可能な、調査統計・業務統計・加工統計の自動化や収集データの可視化を題材に、ローコード・ノーコードツールによるダッシュボードの開発を体験します。 (1) Power Automate Desktop を用いた調査統計・業務統計・加工統計の自動化 (2) Power BI Desktop を用いた各種データの統合と可視化
5	7/7 (日) ～ 8/30 (金)	・業務 UX 調査 ・プロトタイプ制作 ・成果報告資料作成	各チームに分かれて、業務 UX 調査、プロトタイプ制作を継続します。チームで開発したシステムやダッシュボードを対象業務の業務関係者に試用してもらい、サービスの顧客体験の改善点を明らかにし、システム/ダッシュボードのブラッシュアップに取り組みます。遠隔コミュニケーションツールを利用してチームで意見交換しながら進めます。システム/ダッシュボードの改善におけるトラブル解決や質問には、講師 / アシスタントが対応します。
6	8/31 (土)	研究成果発表会	・プロトタイプの検証結果を展示します。 ・さらなる機能改善や業務データ連携（データの 2 次利用）の方策について意見交換します。

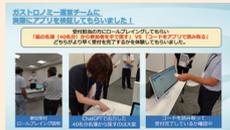
令和 5 年度 まちのデータ研究室 研究員による研究事例

※Microsoft Power Platform を活用

文化財管理業務
(情報収集、情報公開)を
デジタル化



三木町
デジタルマップ



ウォーキングラリーイベント
運営業務(計測業務、安否
確認業務)をデジタル化



観音寺これくしょん /
坂出これくしょん
(QRコードを用いた
スタンプラリー)



主催：情報通信交流館（e-とびあ・かがわ）、国立大学法人香川大学 共催：かがわ情報化推進協議会
協力：日本マイクロソフト株式会社、日本電気株式会社、e かみしばいコンテスト実行委員会
後援：大学・地域共創プラットフォーム香川、高松市、スマートシティたかまつ推進協議会、四国情報通信懇談会
協賛：情報処理学会四国支部、教育システム情報学会四国支部